

明けましておめでとうございます。我が会の目標である“語り継ぐ”に関し考えてみました。20世紀最大の物理学者とも呼ばれる、アインシュタインが残した言葉「過去から学び、今日のために生き、未来に対して希望をもつ」には、強い説得力を感じ、会設立時はよく使った言葉です。

わが会の目的は、高槻名誉市民の功績を顕彰・継承する中で、品格と誇りを持った市民を育てる風土づくりに寄与することです。語り継ぐ重要性を認識し、初心に戻り、更なるステップアップを目指します。本年も会報ご愛読よろしく願いいたします。(編集部)



**【速報】** 2020年2月24日 14:00～ 於：高槻現代劇場 305号室  
第三回高碓達之助記念講演会『終戦前後の満州と高碓先生』（講師：古海建一氏）

### ■高碓達之助記念館訪問行

12/11(水)は熱心な会員の皆様 20 数名の方と共に、宝塚市雲雀丘花屋敷の高碓達之助記念館(1923年ウイリアム・M・ヴォーリズ設計)と、高碓翁が1938年財団法人東洋罐詰専修学校として創設し、現在も東洋食品工業短期大学として、正に文字通り翁の建学精神を脈々と受け継がれていることが見て取れる清潔な学び舎を拝見させていただきました。



当日は残念ながらご当地ご自慢の借景となる大阪平野の大パノラマは薄曇りの中存分には堪能出来ませんでしたが、冬将軍の間隙をぬう様な暖かめの気候の中、郷土史の偉人の足跡を訪ね、愚生ながら、いささかでも翁の精神の片鱗に触れたような思いにさせていただきました。(宮本記)



### ■12月例会前半村上先生特別講演

12月2日(月)の当会例会は、先月の北村正信研究員による“鳥羽における高碓達之助—東洋水産株式会社の興亡—(前編)”の流れを受け、北村氏より講演をお願いした、現流通科学大学経済学部経済科准教授で、三重大学教養教育機構にも在籍されていた、村上友章先生よりお話を伺いました。

東洋水産(株)設立に伴う、国や三重県内外の諸事情や思惑に翻弄されつつ、遂に倒産の憂き目を見る中、会社の存続に中心的役割を担った、高碓翁にとっては、後に東洋製罐(株)設立に受け継ぐべき教訓や、技術は計り知れないものがあつたように思われます。(宮本記)



### ■12月例会後半発表者三輪廣司氏

12/16(月)の例会では“軍歌”に見る日本人としての忘れてはならない精神文化を、時代背景・他国の軍歌比較を中心に、三輪廣司会員により熱く語っていただきました。



### ■“高槻名誉市民村上三島氏を読む”

(前大阪府会議員吉田利幸著「感動」(平成6年)より2回に分け掲載。)前号から続く。

ご自身が書かれる一字一字が自分の生命だとおっしゃられる村上三島先生に一字に対する大変な愛情を痛いほどわからせて頂いたのです。

私も政治家として、仕事を通して、これが私の生命そのものだと明確に言い切れるか自問自答して、まだまだ修行が足りないと思われざる昨今です。

この出会いを機に、芸術家の作品を鑑賞するときは必ず、作家の生命そのものを観るように心がけています。その後、村上先生に五回ほどお目にかかる機会があり、その折々にお教えを頂くことばかりです。

作品に対する情熱は年齢を感じさせない、正に先生の脈々とした生命の鼓動が宇宙全てに響くぐらいに私の魂をゆり動かす感じが致します。

生まれた故郷の大三島(愛媛県)に村上三島記念館を立派に開館され、「日本一の書の美術館にするんだ。」と話された先生のお顔は青春そのものだったし、ひかり輝いていました。

先生は母なる生まれたふるさとを一番愛していらっしゃるんだなとつくづく思った次第です。

【語り継ぐ会連絡先】 馬淵晴彦 FAX:072-689-3674

メール:h\_mabuchi@office.zaq.jp

HP: <http://takatuki-meiyosakura.ne.jp/>

NPO 法人

高槻名誉市民を語り継ぐ会